

とやま

県広報

1986/12 NO.215



11月2日野鳥の園
探鳥会を開催

エッセイ 山本雄二郎

ニッポン列島新経済地図「富山県」を取材して——表紙2

特集：県政1年を振り返って

新世紀に向けて明るく希望に満ちた郷土へ——P4

PIN UP TOYAMA

漁火——P14

県づくりは、県民みんなの共同作品

1日部長・1日庁議から——P16

TRIP “県政”

県民会館分館内山邸——P22

ふるさとみてある記

井波町——P24

シリーズ とやまの水8

影無し井戸——表紙3



ニッポン列島新経済地図「富山県」を取材して

サンケイ新聞コラムニスト 山本雄二郎

交通・通信手段の発達には、国土の地域性を薄めるといわれます。とくにテレビの普及は、若い人たちから方言まで奪い、日本はますます金太郎アメ的な単一民族国家の様相を深めつつあるように思います。

しかし富山県下を八日間ばかり歩き回った結果、ここではかなりのユニークさを感じました。富山県は、日本列島の中でもはっきりした特色をもった県だという発見です。

何がユニークかといえば、これは連載記事の中にも書きましたが、県別諸統計に数字として現れています。それをみると、富山県は「古きよき日本」を最も多く残しているように思われるのです。

たとえば住宅事情は持ち家比率、住宅延べ面積が全国一、三世帯同居世帯の比率が二位と大家族主義で、老人ホーム普及率が全国四十六位と下から二番目。孤獨な老人が少なく、被生活保護者が少ない(四十四位)ことは家族連帯による自立自助精神によるものでしょうか。

また富山の女性は働き者(女性有業者比率五位、妻の就業率二位、夫婦共働き比率二位)です。全体の就業率も高く離職率が低いことは勤労意欲の高い県民性を証明し、これが貯蓄率

(可処分所得比)全国一につながっています。

貯蓄の裏返しで消費性向が低いのは「明日に備える」堅実主義、先憂後楽発想と同時に、住居や冠婚葬祭に消費がかさむためといわれます。つまり世間を気にした農耕民族型の「見栄と人並み、地縁意識」が背景にあるというわけです。このほか進学率の高さ、二次産業(製造業)中心の産業構造、水田(米作)に偏った農業構造なども特色です。そして、この県民性は河川洪水など厳しい風土との長い闘いや、一向宗の信仰を通じて培われていったといわれています。

こうした「勤儉貯蓄」型行動形式は、最近の社会風潮と異なるものにみえます。美意識、感性人間、新人類……には富山は無関係といった感じですが、それでも金沢を意識した富山市の街づくりが問題になっているように、新しい発想や行動もみられるようです。

中沖知事の「いきいき富山」のイメージアップキャンペーンは、富山の伝統的特徴を維持しながら時代に対応したプラス・アルファを目指したものにみえます。そして、その成果が着実にあがっていることは、富山県に対する全国的関心が高まっている事実が証明していると思います。



クロスアップ 1

'86ハローいきいきやまパフォーラム開催

十一月六日、東京都内のホテルで、富山県への企業誘致と観光の振興、そして県のイメージアップを目的に、「'86ハローいきいきやまパフォーラム」を開催しました。

この日の招待客は、企業関係、観光・旅行業関係の方々、そして富山県出身あるいはゆかりのある著名な方々です。パフォーラムは富山県出身の女優中村明美さんの小気味のよい司会のもとにすすめられました。

まずはじめは、著名人によるパフォーラムスと題して、竹村健一氏と前田常作氏の興味深いスピーチがあり、一風変わった富山のPRが展開されました。

その後は、盛りだくさんの富山の産物を集めたパーティーです。チューリップで飾り付けられた会場には、富山から直送したキトキトの味覚や特産品が所狭しと並べられ、さすがの招待客の皆さんも思わず目を丸くしたまま。また、アトラクションには、シンセサイザーのこきりこ節演奏やおわら踊り等も披露され、会場は富山一色に塗りつぶされました。

県では、このパフォーラムを機に、今後もより一層強力な、企業誘致、観光PR、そしてふるさと富山県のイメージアップに取り組んでいきます。



さあ走ろう

まちと村

タスキで結ぶ

富山県駅伝競走大会

十月二十六日、県内十六郡市の精鋭選手による富山県駅伝競走大会の白熱したレースが展開されました。昭和五十八年に置県百年記念県内一周駅伝競走大会として県民の長距離走に対する熱意にこたえて始まったこの大会も今年で第四回目。

郷土の期待と声援を一本のタスキに託し、中学生、高校生、社会人が日頃鍛えた力で県土を駆け抜けました。

今年、みごとに優勝したのは、男女共に高岡市チーム。それぞれ大会新記録 男子二時間十三分二十一秒〇四十二・五〇、女子一時間十一分十八秒〇二十・七〇での優勝です。また、女子二位の西砺波郡チームも大会新記録、このほか男女あわせて二十一の区間新記録されています。

白く薄化粧した立山を背景に走るこの大会は、県民の間に定着し、さながら晩秋の風物詩となっています。



外国人とは、まだ会ったことのない人 外国人による日本語弁論大会

今回の出場者の皆さん

富山県外国人による日本語弁論大会が十一月三日、県民会館で開かれ、七か国の男女十二人が熱弁を競いました。

母国で売られている日本製品が、日本のクラスマイトの父親の家庭生活も顧みない労働によって生産されていると思うと、使うのが悲しくなると語ったクレアー・ハチソンさん（オーストラリア）。日本語は「お」を付けると言葉が丁寧になると思いつきに「お」を付け、お菓子のおかきと間違えられ日本語の難しさを知った黄愛萍さん（中国）。アメリカ、ペルー、キューバ、スペイン、日本と移り住んで、「私にとって外国人とは、まだ会ったことのない人達のことです。」と語るサリー・ニューボートさん（アメリカ）など皆さん七分の持ち時間をフルに生かして、自分が見た日本、思っていること、生き方などを述べました。

今回の最優秀には、日本の豊かさが日本人の勤勉さに支えられていることを日本で暮らして初めて知った事を語った蔡亮さん（中国）が選ばれました。

「国際化」が声高に叫ばれている今日、まず、外国人のたちが、日本をどのように見、感じているのかを知り、私達の生活習慣や国民性を見直すことから、国際的視野を深めていきたいものです。



富山県外国人による日本語弁論大会



第 四 回 富山県外国人による日本語弁論大会

主催 富山県青年会



新世紀に向けて 明るく希望に満ちた郷土へ

昭和60年12月～61年11月

昭和六十年代は、高齢化社会の到来、価値観の多様化、情報化や国際化など「激動と混迷の時代」という言葉に象徴されるように大きな転換期を迎えています。富山県は、このような時代の潮流の中で、県民が心から生きがいを感じることでできる活力と温かい心に満ちた美しいふるさとを創造するため、やがて到来する二十一世紀を展望した、着実な歩みを続けています。

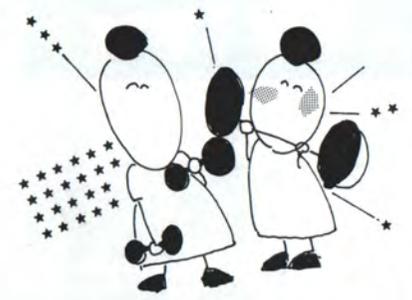
ものより心、画一性より多様性、知識より知恵が重んじられる社会にあつては、大胆な発想、深い洞察力、そしてたくましい行動力が必要とされます。県民一人ひとりが新しい飛躍への決意をもって新しい県づくりに取り組んで行かねばなりません。勤勉かつ創造性に恵まれた富山県の県民性はそれらの大きな源泉となることでしょう。

県政の運営についても、県民本意の県政、開かれた県政、先見性に満ちた計画県政の推進が基調となっています。富山県民総合計画は、今年度、その前期計画の最終年を迎えています。この間、計画した諸事業は、着実に進展し、今年度においては、後期事業計画の策定をすすめています。

そこで、新世紀に向けて明るく希望に満ちた郷土へ躍進する富山県のこの一年を県民総合計画の三大政策「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」のそれぞれについてふり返ってみたいと思います。

明日の富山県を拓く鍵

—明日を拓く人づくり—



川原、小野選手アジア大会金メダル

新湊高校甲子園ベスト4進出

また、県立中央病院の改築のための基本構想の検討が行われています。

社会福祉の充実

家庭、地域社会、施設の三者が一体となった地域総合福祉を推進しています。障害のある方々については、今年が国際障害者年の中間年であることからナイスハートキャンペーンを実施し、介護の負担を軽減するため

の「生活機器展」を開催しました。また、視覚障害者福祉センターや富山地区精神薄弱者更生施設の建設に対する助成を行いました。なお、冬期間における児童の健全育成を図るための雪つ子育成推進事業への助成も行われています。

生涯学習の推進

学校教育については、大門高校を新設したほ

高校が春の選抜高校野球でベスト4に進出したほか、水泳の河原泉、小野郁の両選手がアジア大会で金・銀メダルを獲得するなど県勢の素晴らしい活躍がありました。疾病予防対策に関しては、県民ヘルスプランの策定を進めるほか、がん対策基金の造成や胃がん検診車の整備、黒部保健所での胃がん検診体制の整備等を図りました。



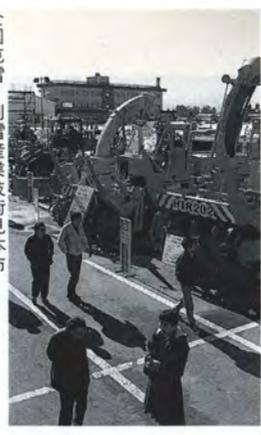
ナイスハートキャンペーン「生活機器展」

昭和60年12月～昭和61年11月の出来事

- 2 行政改革委員会から「県の行政改革推進についての基本方針」報告書提出
- 2 日本鉄道建設公団から環境影響評価報告書案に関する知事意見に対する見解の報告
- 3 全国初の豪雪対策図上訓練
- 6 12月定例県議会（～18日）
- 14 第3回高校生等海外派遣結団社行式（20日～61年1月4日、イギリス、フランス、イタリア）
- 15 I.Y.Y.メモリアルフェスティバル
- 18 富山県農業教育問題研究会報告書提出
- 24 第38回中部日本高等学校演劇大会（～27日）
- 25 北陸新幹線（高崎・小松間）工事実施計画認可申請
- 26 第13回富山県青年海外セミナー結団社行式（27日～1月2日、インドネシア）
- 5 「わたしたちの壁画'86」展（～2月2日）
- 9 第1回富山県中核農業士青年農業士等の集い
- 17 '86全国克雪・利雪シンポジウム
- 17 '86全国克雪・利雪産業技術見本市（～19日）
- 20 第3回富山県海域総合利用技術開発モデル調査委員会
- 28 第10回富山県産業構造研究会顧問会議
- 31 第2回富山県民総合博物館構想策定委員会
- 1 雪のファンタジーコンサート
- 8 ホックニーのカメラワーク展（～3月9日）
- 9 第1回冬季県民レクリエーション大会
- 13 2,000年国体中ブロック14府県の同意書を取り付ける
- 14 '86バレンタインチューリップキャンペーン
- 14 行政改革委員会「当面具体的に措置すべき改革事項」を報告
- 15 第41回国体冬季スキー競技会県選手団結団社行式
- 18 ライフステージスポーツプログラム作成研究委員会
- 20 行財政改革検討委員会
- 20 富山県うるおいのある環境づくり委員会
- 20 富山県緑花推進県民会議
- 28 2月定例県議会（～3月22日）
- 15 '86富山の美術（～4月12日）
- 16 北陸新幹線富山駅周辺環境整備事業起工式
- 19 富山県海域総合利用技術開発モデル調査委員会
- 24 高度情報システム研究会
- 24 情報公開懇話会
- 26 高志会館定礎式
- 27 第6回工業用水道検討委員会
- 1 富山県行政機構の再編整備
- 3 春の選抜高校野球準々決勝（新湊vs宇都宮南 3-8）
- 4 市町村長会議
- 7 大門高校開校式
- 10 いきいき富山観光キャンペーン'86スタート

- 4 13 全日本選抜ジュニアスポーツ選手権で堀田朋愛選手が初優勝(テニス)
- 15 総合雪対策推進連絡会議
- 16 素粒子物理学1986富山国際会議(～18日)
- 20 ルチオ・フォンタナ展(～6月8日)
- 22 利賀村で知事のまちなまり・語るつどい
- 25 第1回県政PRデザイン研究会
- 30 高志会館落成式
- 5 1 交通安全博物館竣工
- 1 木材利用普及センター竣工
- 6 県民総合博物館基本構想策定委員会
- 7 総合開発審議会
- 8 第37回富山県植樹祭
- 9 「とやま賞」贈呈式
- 10 春の叙勲伝達式
- 13 春の褒章伝達式
- 14 婦人・青年海外派遣結団壮行式(～26日、カナダ・アメリカ)
- 18 富山県繊維工業円高対策連絡会議
- 25 第24回富山県身体障害者体育大会
- 26 円高対策協議会
- 30 富山県総合雪対策推進会議
- 30 バイオテクノロジー推進懇談会
- 31 高岡文化ホール定礎式
- 31 高岡短期大学開学記念式典
- 6 1 ズームアップとやま
- 2 とやま URUOI 会議
- 3 大門町企業団地竣工式
- 6 石油コンビナート等総合防災訓練
- 7 第41回県展
- 13 いきいき富山観光と物産まつり
- 13 富山県伝統的工芸品展
- 14 ミロ展(～8月24日)
- 17 伏木富山港特定重要港湾指定
- 19 '86まちづくりシンポジウムとやまとやまトレードフェア'86
- 7 1 植物公園構想懇談会
- 6 衆議院議員選挙・参議院議員通常選挙投票日
- 9 7月定例県議会(～19日)
- 12 工業技術センター竣工式
- 21 北陸新幹線対策連絡協議会総会
- 21 北陸新幹線着工促進富山県民協議会総会
- 22 第三次中曽根内閣成立、綿貫民輔代議士国務大臣就任
- 24 第22回日米医学協力委員会
- 24 インダストリアルデザインセンター懇談会
- 25 とやまニューメディアショー
- 25 高度情報システムシンポジウム
- 30 県庁東別館竣工式
- 31 高等教育機関整備推進委員会
- 8 3 青年の日記念シンポジウム
- 3 ライブとやまティーチ・イン
- 4 庄川町で知事のまちなまり・語るつどい
- 7-8 富山県情報公開制度大綱案説明会
- 8 中央病院基本構想検討委員会
- 8 ズームアップとやま「写真展」(～11日)
- 9 第39回県民体育大会(～21日)
- 10 昭和61年度高校総合体育大会で石動高校優勝(ホッケー女子)
- 15 富山県戦没者追悼式
- 17 県民オーケストラ合同演奏会

全国大雪・利雪産業技術見本市



両面にわたる総合的な施策を実施しました。また、魅力ある都市景観づくりモデル事業を実施し、都市景観の総合的デザイン政策にも取り組んでいます。このほか、水資源の活用を図るための河川総合開発事業の推進、富山湾の総合利用についての調査研究の実施、アクアマリン調査にかかると実証研究の促進に努めています。



高岡文化ホールオープン

若者と婦人の力を社会に
 昨年の国際青年年の趣旨を引きついでいくため、青年の日が設けられ、それを記念したシンポジウムを開催しました。また青年サロンの開設、日本青年会議所全国大会に対する助成などを行いました。婦人については、その豊かな能力と情熱を地域社会づくりに生かすためのウーマンフェスティバルの開催や二十一世紀をめざすとやま女性プランの策定を進めました。

文化の県づくり
 URUOI会議を設置し、創造的であるおの文化環境をつくるための施策を講じています。県民オーケストラ合同演奏会や公募日本海美術展の開催など、芸術鑑賞機会の増大や、県民の創作活動に対する支援を行いました。また、県立の博物館基本構想の策定を進め、立山博物館の基本構想案を提示したほか、埋蔵文化財センターや教育記念館の整備、県内の博物館の活動を促進する施策を行いました。

か高岡高校の全面改築の着手、生徒急増に伴う既設校の増築等を行いました。また、時代の要請にこたえていくために、高等学校にバイオ技術教育を取り入れたり、情報教育の充実、特色ある生徒活動の推進を図っています。また、国立高岡短期大学が、今春、学生受け入れをはじめ、地域に開かれた大学として今後の発展が期待されています。社会教育の面では、高岡市に富山県高岡文化ホールが県西部の文化振興の拠点としてオープンし各種のイベントがくりひろげられています。

明日の富山県の発展の基礎を築く

— 魅力ある郷土づくり —

魅力ある地域づくり
 雪に強いいきいき富山は、県、市町村、県民が、一体となつて雪と取り組み、たゆみない努力を重ねることによって、はじめて実現します。全国初の豪雪対策図上訓練の実施や、'86全国大雪・利雪シンポジウム、'86全国大雪・利雪産業技術見本市の開催、雪に関するアイデア募集などユニークな行事を開催したほか、地域ぐるみ除排雪の促進、雪に親しむ各種事業等、総合雪対策基本計画にもとづいて、大雪・利雪の

心ふれあう快適な暮らしの実現
 グリーンプランにもとづき、県民の皆さんの積極的な参加のもとに、県土に花と緑の輪が広がっています。また、来春オープンを予定している花き総合指導センターの整備のほか、チューリップキャンペーンや植樹祭・育樹祭をはじめとした緑花に関する多彩な施策を展開しました。また、住みよい環境づくりのために消費生活の安定向上、県民生活の安全と平穩の確保、生活環境の保全を図るための大気汚染レメータシステムの整備拡充のほか、県土美化の推進にも努めました。



植樹祭



清掃美化大会

- 8 18 「日本の道100選」建設大臣顕彰伝達式
- 18 第6回富山県科学技術会議
- 19 富山県友好代表団派遣(～30日、中国遼寧省)
- 20 北陸新幹線建設促進同盟会総会
- 20 整備新幹線早期着工要求総決起大会
- 21 富山県農業基盤整備検討委員会
- 22 富山県農業会議総会
- 27 滑川市で知事のまちなわり・語るつどい
- 28 富山県視覚障害者福祉センター起工式
- 28 富山テクノポリス現地視察会
- 29 富山県基幹交通体系調査委員会報告書提出
- 2 公募：日本海美術展(～10月19日)
- 3 富山県総合防災訓練
- 3 第41回国体夏季大会富山県選手団結団壮行式
- 9 老人若返り祭り(～10日)
- 10 富山県総合開発審議会計画推進部会
- 10 国体ボート競技、八尾高校少年女子ナックルフォア五連覇、インテック成年女子初優勝
- 11 第6回富山県精神薄弱者連合運動会
- 12 21世紀中部圏フォーラム
- 13 朝日小川ダム定礎式
- 16 9月定例県議会(～27日)
- 19 ナイスハートキャンペーン家庭での介護の負担を軽減するための「生活機器展」(～24日)
- 22 第10回アジア大会競泳女子背泳100mで小野郁選手銀メダル獲得
- 23 第24回富山県身体障害者体育大会(水泳)
- 26 第10回アジア大会競泳女子バタフライ200mで河原泉選手金メダル獲得
- 29 富山県社会福祉大会
- 1 富山県高岡文化ホール開館
- 1 富山パートバンク開所
- 3 富山県東海北陸自動車道建設促進同盟会総会
- 4 富山県青年議会
- 2 第35回日本青年会議所全国大会(～5日)
- 7 上市町、舟橋村で知事のまちなわり・語るつどい
- 8 第20回全国食生活改善推進員リーダー中央研修会
- 8 第2回富山県育樹祭
- 9 昭和61年度全国食生活改善大会及び第17回食生活改善推進員団体連絡協議会大会
- 9 国体秋季大会富山県選手団結団壮行式
- 14 薬用植物指導センター起工式
- 15 富山県産業廃棄物埋立センター発足記念式典
- 16 望ましい立山を考える会
- 20 一日部長(29日一日庁議)
- 20 シンポジウム「富山・東京論」
- 21 第4回博物館構想策定委員会
- 23 イメージディレクター会議
- 24 富山県緑花推進県民会議
- 24 自動車税管理センター起工式
- 24 砺波山田川ダム本体起工式



北陸新幹線富山駅周辺環境整備事業起工



交通安全博物館

生活基盤の充実
 快適な生活を営むため、住宅や上下水道など生活基盤の整備充実を図っています。屋根雪融雪工法の研究、住みよい家づくり資金・優良宅地取得資金の融資条件の改善を行いました。小矢部川流域下水道の整備については昭和六十二年度末の一部供用開始に向け、浄化センターおよび幹線管渠の建設を進めています。また、自然環境管理計画策定のための調査、立山室堂地区を中心とした植生復元事業の推進、自然に親しむ集いの開催、望ましい立山を考える会の設置など、自然環境の保全と利用推進を図りました。

総合交通体系の整備
 北陸新幹線について、駅周辺環境整備事業がスタートし、着々と富山駅の整備が進められています。また本格着工実現への関係機関へ向けての強い働きかけも積極的に行っています。伏木富山港については、特定重要港湾の指定を受け、国際港として一層大きな役割を果たして行くことになりました。また、国道や県道の整備の推進など、総合的な道路交通網の整備に努めました。交通安全対策の面では、交通事故防止県民運動をはじめとした各種啓発活動の展開を進めているほか全国的にもユニークな交通安全博物館をオープンし、交通安全思想の普及を図ります。



青年・婦人の翼、カナダ交通博ジャパンシアターに出演

国際化時代への対応
 富山県と友好県省を締結している中国遼寧省へ富山県友好代表団を派遣し、富山県・遼寧省友好交流促進会議」に関する覚書の調印を行うなど、両県省の相互理解と友好関係の一層の増進を図っています。また、同じく友好県州を締結しているブラジル連邦共和国サンパウロ州からは、州政府推薦の技術研修員の受け入れなどを行い、交流を深めています。青年・婦人および高校生の海外派遣事業についても、引き続き実施し、国際的な広い視野をもった人材の育成を図っています。

安定した豊かな県民生活を実現する

— 活力ある産業づくり —



工業技術センターオープン

技術立県をめざして
 本年七月に、県内企業の技術高度化の拠点として工業技術センターがオープンしました。また、試験研究機関の先端技術研究開発の推進とその機能強化を図るために、農業試験場、野菜花き試験場等を農業技術センターとして組織を再編整備したほか、林業試験場、畜産試験場の整備を行っています。



「富山県・遼寧省友好交流促進会議」に関する覚書調印

- 25 第3回特産王国とやまフェスティバル(～26日)
- 26 第4回富山県駅伝競走大会
- 28 とやま URUOI 会議
- 30 第14回花と緑の大会
- 31 大島町・下村で知事のまちなまり・語るつどい
- 6 第37回勤労者美術展(～9日)
- 6 ハローいきいき富山パフォーラム
- 7 福野町で知事のまちなまり・語るつどい
- 9 婦人スポーツ大会
- 10 富山県総合雪対策推進会議
- 13 科学技術会議
- 13 労働時間短縮シンポジウム
- 15 (協)富山問屋センター富山流通会館落成式
- 27 富山県長期水受給計画委員会



諸施策を積極的に推進するために 開かれた県政の展開

新しい県づくりは、県民すべての積極的な参加と協力によって推進されなければなりません。県政に県民の皆さんの意見を反映するため県政バス教室、知事のまちなまり・語るつどい、一日庁議、県政世論調査等の公聴活動を行っています。そして、県政を県民の皆さんに知っていただき、新聞、テレビ、ラジオ等の媒体を通じて広報活動を進めています。

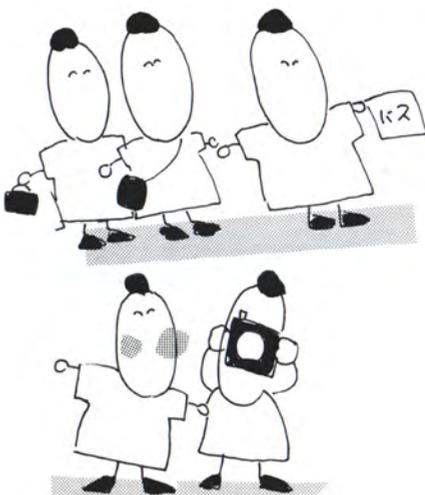
また、県民の期待に応え、新たな時代の要請に即応した積極的な行政を実現するための行政改革を行っています。

このほか、開かれた県政を推進するために、「富山県情報公開条例」を制定し、来年四月の施行に向け、窓口の整備や公文書センターの建設整備を急ピッチですすめています。

そして、県民総ぐるみで富山の良さを見直しその素晴らしさを写真でとらえる「ズームアップとやま」の実施や県ゆかりの著名人のお知恵を拝借するイメージディレクター会議の開催など、全国に誇りうるふるさとづくりのためのイメージアップ作戦を展開しています。



県政PRデザイン研究会



農林・水産業の振興

県民生活の安定と富山県経済の発展に重要な役割を果たす農林水産業については、活力ある「人づくり」、豊かな「ものづくり」、うるおいある「むらづくり」を施策の柱としています。

農業については、農地流動化や地域農業の組織化、農業の担い手育成、地域ぐるみの営農体制づくりの推進等、地域に根ざした生産性の高い農業を展開する諸施策を行いました。特に野菜、花き、果樹の振興については、花き卸売市場の設置や優良果樹の苗木導入に対する助成など、地域の特性を生かした産地づくりを進めています。また畜産については、肉用牛改良増殖センターや畜産団地の整備を進めています。

林業の振興対策として、生産基盤の整備と森林機能の維持増進に努める一方、五月にオープンした木材利用普及センターを拠点として木材



木材利用普及センター

利用の普及啓発活動を展開しています。

水産業については、公社営栽培漁業センターの建設促進、漁港整備、魚礁の設置など、つくり育てる漁業を積極的に推進しています。

このほか、特産物の振興と普及を図るため特産王国づくりを進め、開発、生産振興、販路拡大に努めています。



いきいき富山観光と物産まつり

工業の振興

創造性豊かな工業の育成を図っています。

まず、富山テクノポリス建設の推進のため、富山技術開発財団の体制整備、情報基盤の強化を図りました。企業立地についても、富山新港工業用地や富山八尾中核工業団地など、市町村との緊密な連携のもとに、優良企業の立地推進を図っています。

なお、活力ある富山県を知っていたかどうかと経済界を中心に各界から著名人を集めて東京で

雇用の安定

定年延長の促進、高齢者特別求人開拓員や人材コンサルタントの活用、シルバ人材センターに対する助成強化、富山パートバンクの開所などにより、雇用の安定と離職者の再就職促進に努めました。

また、県外の大学等を卒業してUターンを希望する者の受け入れを促進するための情報提供も充実を図りました。

女子労働者については、男女雇用機会均等法の趣旨にもとづき、その地位の向上を図っています。

第三次産業の振興

「観光とやま」のイメージアップに大きな成果をあげている「いきいき富山観光キャンペーン」を引き続き実施しました。また、冬の観光イベントの開催にも取り組んでいます。魅力ある商業やサービス業の発展のために、地域小売商業消費者関連事業、情報化モデル事業などを実施し、小規模企業対策の充実を図っています。商店街のリーダー育成、イベント事業に対する助成、診断指導の拡充など商店街機能を高度化、活性化する諸施策も講じました。

いきいき富山パフォーラムを開催しました。中小企業の経済安定と体質強化を図るため県単独中小企業融資制度の充実を行うとともに急激な円高基調下の輸出関連中小企業対策として、中小企業円高対策特別融資制度を拡充しています。

薬業については、薬事研究所において和漢薬やバイオテクノロジーの新しい分野の研究に取り組みほか、薬用植物指導センターの整備を進めました。



冬の日、スキーヤーのみならず、ご家族、友人、仲間、みんなでワイワイガヤガヤ、 Gondラスキー場ですごしてみませんか。 Gondラスキー場では、皆さんのおいでを心よりお待ちしております。

立山山麓県営 Gondラスキー場

12月15日オープン



立山山麓の県営 Gondラスキー場が十二月十五日、スキー場開きします。

今年、Gondラ誕生十周年です。そこで、麓の Gondラ駅では、これまでの十年を振り返るポスター展の開催を予定しています。スキーの歴史、Gondラ十周年の道しるべをどうかご覧ください。また、各種イベントの内容も充実し、ゲレンデ、コース案内も整備しました。

また、今シーズンからスキーバスの運行期間を三月まで延長し、スキー場利用の皆さんの交通の利便性、足の確保に努めます。



交通案内

鉄道利用／富山駅下車—地鉄電車「立山線」のりかえ(特急50分)—立山駅(立山駅—スキーバス(5分)—Gondラ駅)
北陸自動車道利用／関西、福井、石川方面からお越しの方は、北陸自動車道「立山インター」を経て Gondラスキー場へ。
マイカー利用／マイカーでお越しの方は、大山町小見経由、立山町芦峯寺経由の両方法がありますが、大山町小見線の混雑が予想されますので立山町芦峯寺経由が便利です。スノータイヤの着装とチェーンの用意を。

リフト利用料金

区 分	大 人	小 人
1 回 券	700円	350円
共通回数券	1,200円	600円
共通1日券	2,800円	1,400円
ゴンドラリフト手回品券	300円	

● 共通回数券／ゴンドラは4コマで1回乗車可
 チェア・パラレルは1コマで1回乗車可
 ● 団体割引／20人～49人…10%引、50人以上…20%引

駐車場利用料金

区 分	普通(10人乗以下)	大型(11人乗以上)	大型(30人乗以上)
駐車券(1回当日限り)	500円	1,500円	2,500円

- イベント
 12月15日(月)／スキー場開き
 12月20日(土)／スキーファン感謝デー(リフトおよび Gondラ午後半日無料)
 1月15日(祝)／Gondラ誕生祭
 2月21日(土)・22日(日)／第2回いきいき富山自作ソリ競技大会・'87 Gondラ雪の祭典(●びっくりスラローム●宝さがし●歌謡ショー●雪の女王コンテスト●たいまつ滑降●花火大会ほか)
 3月29日(日)／セゾン杯立山山麓ファイナルスラローム大会(富山県スキー連盟公認)
 ● ナイター営業／午後5時～午後9時
 金・土・日および祝日の前日

県庁内相談

曜日	相 談 時 間					
	月	火	水	木	金	土
午前			9:00			9:00 ↓ 11:30
午後			4:00	弁護士相談 1:00～3:00		

(日曜、祝・祭日)は休み

交通事故にあわれた方に

—交通事故相談所のご案内—



県では、県庁二階に交通事故相談所を開設し、専門の交通事故相談員と弁護士が、損害賠償問題、更生問題など交通事故に関する問題について被害者(加害者)の方の相談に応じています。ご相談の際は、事故の相手方の住所、氏名、職業、保険の有無等のメモをお持ちください。相談は一切無料です。
 ● 個人の秘密は固く守ります。
 ● 電話相談も受け付けます。
 (0764・31・4111 内線759)

巡回相談

巡回	相談所及び所在地	相談日	相談時間
巡	黒部市中央公民館 TEL 0765-54-0278 (代)	毎月第1月曜日	10:00～15:00
	滑川市役所 TEL 0764-75-2111 (代)	毎月第1火曜日	
	魚津総合庁舎 TEL 0765-24-5311 (代)	毎月第3水曜日	
	新湊市役所 TEL 0766-84-2100 (代)	毎月第3金曜日	
	氷見市役所 TEL 0766-74-1100 (代)	毎月第2火曜日	
	小矢部市役所 TEL 0766-67-1760 (代)	毎月第4木曜日	
回	砺波総合庁舎 TEL 0763-33-5151 (代)	毎月第2金曜日	

- ①後退(バック)するとき
 - ②身体が著しく大きい、または小さい等、適切に装着できない者
 - ③疾病等のためシートベルトを着用することが適当でない者
 - ④緊急自動車等の特殊な業務に従事する者等同乗者
 - ②③④のいずれかに該当する者等
- ①後退(バック)するとき
 ②身体が著しく大きい、または小さい等、適切に装着できない者
 ③疾病等のためシートベルトを着用することが適当でない者
 ④緊急自動車等の特殊な業務に従事する者等同乗者

— 一般道でのシートベルトの着用が義務づけられ、シートベルトを着用しない者には全ての道路で違反点1点が加えられるようになりました。(61年11月1日から)

いつでも どこでも シートベルト

夜風に淀むイカ釣船

そっと耳を澄ましてみると

遠い灯に誘われていく

さかなたちのささやきが聞こえる

漁火 氷見沖——

Pin Up TOYAMA

一日部長名	プロフィール	スケジュール	
企画県民部長 中野 裕人	会社員 細入村連合青年団 長	10:00 事業内容説明 11:15 部長決裁 11:20 執務状況視察 11:45 昼食	13:00 関係機関の視察 消費生活センター 富山広域圏クリーンセンタ ー 黒部青少年の家 15:50 懇談 16:00 終了
総務部長 清水 和子	主婦 元シャンソン歌手 劇団「青俳」の音楽 指導	10:00 事業内容説明 11:00 部長決裁 11:20 執務状況視察 11:45 昼食	13:00 関係機関の視察 富山県税事務所 公文書センター 情報教育センター 15:50 懇談 16:30 終了
厚生部長 飛鳥 寛恵	高岡市中田保育園長 富山県児童クラブ 連合会認定指導員	10:00 関係機関の視察 健康増進センター 特別養護老人ホーム敬寿 苑 11:45 昼食 13:00 母と子のよい歯のコンク ール知事賞の交付	13:20 関係機関視察 富山児童相談所 14:20 事業内容説明 15:30 部長決裁 15:40 執務状況視察 16:00 懇談 16:10 終了
商工労働部長 高田 瑞夫	榑大和 富山店長 富山商工会議所常 議員 富山県経営者協会 常任理事	10:00 事業内容説明 11:20 部長決裁 11:35 執務状況視察 11:45 昼食	13:00 関係機関視察 工業技術センター 15:10 終了
農業水産部長 高木美喜子	主婦 新川地区婦人農業 者会会長 中核農家の婦人と して活躍	10:00 事業内容説明 10:15 執務状況視察 事業内容説明 11:20 部長決裁 11:45 昼食	13:00 関係機関視察 食品研究所 野菜花き試験場 15:50 懇談 16:00 終了
土木部長 橋 洋子	真田建築設計事務所建築士 (社)富山県建築士 会女性部会副部長	10:00 事業内容説明 11:20 部長決裁 11:35 執務状況視察 11:45 昼食	13:00 関係機関視察 富山港・岩瀬スポーツ公園 県宮下富居団地 常願寺川公園 栃津川放水路 熊野川ダム 16:00 終了
農地林務部長 中村 喜一	受託農業経営 砺波市若林地区土 地改良理事 砺波市農業経営士	10:00 事業内容説明 11:15 部長決裁 11:30 執務状況視察 11:45 昼食	13:00 関係機関施設等視察 緑化センター 古洞ダム 木材利用普及センター 木材試験場 15:30 懇談 16:00 終了
企業局長 福沢 正治	藤沢薬品工業(株)高岡工場長 滋賀県出身	10:00 事業内容説明 11:15 局長決裁 11:30 執務状況視察 11:45 昼食	13:00 関係機関視察 和田川水道管理所 庄東発電管理所 15:45 懇談 16:00 終了
教育長 石坂 恵子	日本画家 日展入選10回 県展審査員、実行 委員等	10:00 事業内容説明 11:45 昼食	13:00 関係機関視察 総合教育センター 富山商業高校 総合体育センター 15:40 懇談 16:00 終了

一日部長



県づくりは、県民すべての積極的な参加と協力によって推進されなければなりません。県ではそのために広報公聴活動を幅広く実施しているところですが、さる十月二十日、二十九日の両日、一日部長・一日庁議を行いました。これは、県民の皆さんに広く県の主要施策等の認識と理解を深めてもらい、その上で県政に対しての意見や提言をいただくことを目的として行ったものです。

一日部長には県内の各界各層で活躍しておられる方で、県政に対して深い関心をお持ちの方や、富山県を客観的に見る立場にある皆さんに務めていただきました。

県づくりは、県民みんなの共同作品。 開かれた県政の推進を目指して



10月20日 一日部長

知事から一人ひとりに、一日部長の辞令が交付されました。その後、それぞれの部局で重点事業等の説明を受け、一日部長決裁、職員の仕事状況の視察、各部局の主要な施設等の視察を行っていただきました。



身近な視点から貴重な意見ゾクゾク

知事と一日部長を務めていただいた方々との懇談会を開きました。席上、一日部長としての感想や、県政に対する考え方、提言など様々な発言がありました。ここでは、その内容を紹介します。



豊中 中沖 知事

知事●皆さん、今日はお忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。皆さんの一日部長としての感想やご意見、それから所管部局にとられない皆さんが日頃、生活のなかで思っておられること、感じておられることなどお聞かせ願えればと思います。そして、それを県政に反映し生かしていきたいと思っております。どうか皆さん、今日は気軽に発言ください。

子供たちにもっと富山を愛する心を(清水さん)

清水(総務部長)●この仕事を与えてくださった事を感謝しています。日頃あいまいにしか考えない事を真剣に考える良い機会となりました。また、県内の各界各層のリーダーの方とお会いできるなんて減りに無いです。総務部長を務めさせていただきましたが、国際交流と新大



余暇時間をどのように過ごすかです。幼児期から老齢期までのライフステージの中で生き甲斐を持つて生きていけるよう県民総ぐるみで考えていかねばならないと思います。幼児期に余暇時間の利用の仕方を身に付けさせることも大切です。

子供達には子供達の社会秩序が必要であるにもかかわらず、現在、子供達は大人の管理した社会に従っています。富山県は出生率が低いですが、これは子供は作るもの、子供は管理するものといった大人社会の工口が原因かも知れません。現実には今の子供達は非常に忙しい、スケジュールでいっぱいです。学校、塾、習い事、各種行事への出席、このような中で、子供達はこれらよりもっと大切なことに気付かずに育っているのでしょうか。子供達には、魚の命、米一粒の命を食べていかないと自分達が生きて行けない事の認識、そしてそれらへ感謝する気持ちから育んでいかねばなりません。



和子さん 清水 総務部長



裕人さん 中野 企画県民部長

思います。お土産に郷土の民謡、例えばこきりこ節などを持って一緒に歌うなんて最高じゃないですか。新大構想は、難しくてもよく分かりませんが、富山に若い人達が集まりにくい状況があることは分かります。かといって就職など餌で釣るのは間違っているような気がします。それより小さな子供達に富山県を愛する心を育む方が大切だと思います。学校の教育のなかでも郷土史が大伴家持で留まってしまっているのはおかしいですし、もっと近世の明治、大正の先覚者を教える事も大切ではないでしょうか。

若者の定着を図るためにも新幹線を(中野さん)

中野(企画県民部長)●とにかく一つの部に課がたかさんあるので驚きました。新幹線という事については、富山に若者を定住させるといふ意味合いにおいても早期実現が本当に必要だと思います。

工業技術センターの活用が県産発展の鍵(高田さん)

高田(商工労働部長)●富山のPRということに関しては、今までは我々富山県民の意志に反した形でPRされたものの蓄積、例えばマスコミによる「雪の富山」の報道が富山のイメージを暗いものにしてきたのではないのでしょうか。また、「富山はたいしたことはないですよ」と答えることを美徳と考える県民性もそれを助長しているように思います。

富山のPRを考えると、富山の良さというものを十分認識したうえで、自信を持ってPRすべきだと思います。現在、県が進めているPR作戦はよいものだし、これからも、世相にあった、前向きな富山の動きをPRして行くことが必要ですね。また、いろいろと事業の説明を受けたのですが、新規事業が非常にたくさんある。新規があり継続があるなかで、どの事業を切り捨てて行くのか疑問に残りました。商品を売る場合でも新商品の導入は簡単ですが、限られたスペースの中で何を残し、何を切り捨てて行くかは重要

はないかと思えます。雪が、単なる邪魔ものではなく、それなりに楽しいものだというふうには立山山麓の三スキー場の一体化も進めて欲しいですね。また、私達が県外に出たときに富山は田舎ものという風に見られるのはよくありません。街の活性化や全国的な知名度の向上を図って、県外からみて面白い、開けているといったイメージが欲しいと思います。消費生活センターで見せてもらったパンフレットは、いいものでした。もっと県民の目の届く所に出してほしいですね。

幼児期に余暇時間の利用の仕方を(飛鳥さん)

飛鳥(厚生部長)●富山には海と三キロメートルを超える山があります。これは世界的にも素晴らしいことです。そして四季折々の海山の幸、米、おいしい水があります。これは、富山に住む人の喜びです。

ところで、人生の半分は余暇時間であるといわれています。厚生分野で考えなければならぬのは、この喜びに満ちた富山の環境の中での問題です。行政の中でもそれは同じ事でしょう。何を切り捨てていくかを話し合う会議が必要ですね。

工業技術センターを興味深く視察させていただきました。非常に立派ですね。高価な機械がたくさんあります。あれだけの施設を今後どう活用していくかが富山の工業発展の鍵になるのではないのでしょうか。各企業の利用をもっとPRする必要があります。それから、駅前の自転車置き場、あふれていませんね。「置いてはいけません」の看板があります。実際にどこかへ置こうとすると置くところがない。小さな行政ですけれど肝心なところが欠けているような気がします。また、県内各地に企業団地、文化施設等が作られていますけれど、それぞれの地域が企業を引っ張りあつたりして結局は県全体としてはスペースが残ってしまうような感じがします。施設を作る場合でも中途半端な物より、大きな時代の流れのなかに生きる施設整備、県全体としてのバランスを考えた施設整備が必要ではないでしょうか。



寛恵さん 飛鳥 厚生部長



高田 瑞夫さん
商工労働部長



高木美喜子さん
農林水産部長



橋 洋子さん
土木部長

農業婦人の海外派遣を 考えてください。(高木さん)

高木(農業水産部長)●砺波の農業技術センターや食品研究所を見せていただきました。食品研究所など県民が利用できる性格を持った施設はもつと利用のPRを図れば良いと思います。

また、現在、農業について視野を広めるため、農家の婦人は年に一回、富山県青年農業バスを利用させてもらって県外婦人農業者との交流を行っているのですが、海外派遣については男性のみで、婦人には機会が与えられていません。できれば、農業婦人の海外派遣について考えてもらえないでしょうか。

話は農業とは異なるのですが、最近県民一人一スポーツの普及を感じています。そして県内の各地で雪上運動会が開かれているのを知っています。雪上運動会は楽しいそうです。しかし運動会をひらくための圧雪の費用が馬鹿にならないそうです。また、スポーツ少年団の指導者は民間ボランティアに任されているのが現状でその費用も大変で、中には逃げ出してしまいう人もいます。そしてまた、小学校体育

館等の夜間開放も行われていますが、その付帯設備、体育館への通路等の照明がありません。些細なことかもしれませんが、このようなことに対してはもならかの助成があればと思っています。

また、ボランティアのスポーツ指導者を指導する指導者研修会のようなものを設ければ、もつと活動が充実するように思います。

立山が見える会場で 国際シンポジウムを(橋さん)

橋(土木部長)●道路除雪、雪対策という面では、富山大学前の無散水消雪のような研究をスタッフを置いてもつと積極的にやってみようと思えます。また、家の周り、町内に小型の除雪機械があればもつと住民の足の確保が進められると思えます。

それから、高岡文化ホールにあるようなスタジオをたくさん作って、東京方面等から若い人が集まってくる楽しい富山にしなければいけないんじゃないでしょうか。また、道路、街並みに富山らしさをだしたりすることも大事だと思います。近代的なビルがあっても、人には、街

の中の水と緑が必要ですね。
また、文化を考えると、異文化交流というのは必要だと思います。立山が見える会場で国際的なシンポジウムを開催するなんて素晴らしい事じゃないでしょうか。そして、その一方で子供達には富山の良さ、日本の文化を伝えていく必要があると思います。

農業用水の汚染が進んでい ます。何か工夫を(中村さん)

中村(農地林務部長)●農地林務部は土地改良ばかりだと思っていたらそうじゃなく、農村の環境整備や生活スタイルまで考えているんですね。私も農家なもので、身近なところで思うのですが、農業用水が刈りとった草や生活排水で非常に汚濁が進んでいます。ある場所では草やゴミを取り上げるよう設計を変えとか各家庭の排水口から雑廃物が流れ出ないような工夫はないでしょうか。

また、農家のほとんどは兼業農家ですから、田んぼに水をいれて会社に行くと、入れっぱなしになっています。これだと用水が無駄になります。自動の灌水装置を考えてみてはどうで

ようか。

それと、冬期、農家のトラクターにアタッチメントを取付けて周辺道路を除雪してもらうのはどうでしょうか。

木材利用普及センターや緑化センター、野鳥の園などを見せてもらいました。間伐材の利用にはアイデアが必要です。学校の机を間伐材で作ればスチール製の物よりずっと温かい感じがしていいと思います。緑化センターについてはPRが足りません。施設の利用のPRをすべきです。野鳥の園については周辺のねいの里や頼成の森とつなぐ道路を整備して一体化を図って行けばいいと思います。

富山の水は21世紀へ向けての 最大の財産です。(福沢さん)

福沢(企業局長)●私は出身が滋賀県で、ついでの間まで大阪で暮らしていました。今、向こうで心配されているのは水の汚染の問題です。富山の水は大変良質の水です。安心して飲めるばかりでなく、ハイテク企業にとっては最大の資源といえます。

私の務める会社は薬品関係ですが、薬品産業

は水産業といわれるくらい水を重要視しています。また、IC産業においても同様な事がいえます。富山の水は、二十一世紀に向けての県の最大の財産です。県営のダムに発泡スチロールの白い粒々が浮かんでたまっているのは残念ですね。水を汚さない、無駄にしない、水の大切さを教えていくことが必要だと思います。

また、富山県は全国的に教育水準が高い。これは、企業が進出するうえでの大きな要因になります。加えて、新大学の誘致による学者の育成や開放講座、それに新幹線等の交通機関の整備によって学者等の高い知的レベルの交流が進めば、富山が学園文化都市として、発展していくのではないのでしょうか。

富山の文化の向上に指導者 の役割は大きい(石坂さん)

石坂(教育長)●富山商業高校や総合教育センター等を見させていただきましたが、学校教育の中で富山を考える時間が無いように思います。これからの富山を考えると、富山に若い人達が定着するように、郷土についての子供の頃から基礎教育が必要ですね。

それと、今の施設はみんな立派です。しかし、立派過ぎて、苦勞して栄光をつかむという意識が無くなってしまつたという懸念が残ります。人それぞれの創意、工夫が無くならないような生涯教育も必要でしょう。そして、そういう意味での施設整備、未来の都市計画の中の施設の在り方、若者に夢を与えるような、大きな意味での街作りが大切だと思います。

また、最近の富山の文化は、大きな底辺の広がりを見せています。そして、その文化の水準を一層高めるためには、引つ張り上げる指導者の役割が大きいようにも思います。

知事●皆さん、いろいろ貴重なご意見、ご提言ありがとうございました。



※文中敬称は、略させていただきました。
また、発言内容は編集してあります。



中村 喜一さん
農地林務部長



福沢 正治さん
企業局長



石坂 恵子さん
教育長



月見台より



味噌蔵



作業場には農具がいっぱい



★レポーター募集

「レポーターがやりたい」、「県政のあんな所こんな所が見てみたい」、このような方は、県庁広報課までご連絡ください。お待ちしております。

(☎0764(3)4111)

レポーター 開口正美



どっしりした表門

見渡すかぎり静かなり



内山邸は別名「柳原草堂」

富山市宮尾のどかな田園風景の中にある内山邸。幕末の慶応四年に建てられ、昭和五十二年に県が内山家より譲り受けました。豪農であり、文化人でもあった内山家の人々。藩政時代の農家の特色と明治期の文化の粋がうかがえます。今回レポーターを務めてくださったのは、開口正美さんです。

内山邸に到着です。わあっ、なんて広い敷地、そして、正面の門、これを見ただけで驚いてしまいます。門をくくって中におしまし、館長さんに、内山邸の歴史をいろいろお聞きしました。

内山家は、千石地主といわれた越中の豪農館で、ここへ来てから十三代続いた家柄だそうです。富山藩時代には代々十村という大庄屋、簡単に言えば村の元じめの役目をしていたそうです。十村役と聞くと厳しいイメージを受けますが、村人には厳しさの中にも優しさがある、といった感じだったそうです。ですから十三代も続いたんでしょうね。

屋敷内をみましましょう。あつ、土間に大きなうすときね。これももちをついたらおいしいだろうなあ、とつい想像してしまいます。座敷は表・中・奥座敷、鞆の間からなっており、あわせて四十八帖あるとのこと。前田家所蔵の「伊達道具」槍・薙刀、清朝の書家揚守敬の「摩兜堅」の額など由緒ある品々があり、欄間は桐のすかし彫りて、お抱えの職人によってつくられたものです。座敷を出ると、「月見台」があります。床は芭蕉の葉を圖案化したものです。ここに立って、広い庭は、見渡す限り木や草が茂って半月ぐらいこうしているという気にさえなります。そのとき訪れておられた方も「いつ来

ても心がなごむ」と言っておられました。月見台の横にある手水鉢は鞍馬石で、水の入るところが月に雲のかかっている形になっており、「雲月」と名がついています。こっているなあと思いました。

この家敷には、書院内の茶室、「夜雨庁」、「三入庵」と三つの茶室があります。ここは現在でもお茶・俳句・琴・詩吟等に使われています。申し込みは県民会館だそうです。私も機会があれば、ここでお茶を一服ちょうだいしてみたいです。

二階は二部屋あり、当時のこの地図等が展示してあります。中二階の部屋は映画「蜚川」の撮影現場になったそうです。

さあそれでは庭に出てみましょう。わあ、気持ちいい、すつこく広い。あらゆる木々がそろっているという感じですね。この庭は藪の内流お抱えの庭師がわざわざ来て手を加えたものだそうです。庭の隣には、なんと果樹園があります。びわ・柿・なし・そして栗、たくさん地面にいが栗が落ちてました。

内山家には四つの蔵があります。味噌蔵・米蔵・家財道具蔵・夜具土蔵、これだけあっても入りきらなかったのではないのでしょうか。たつた一軒の家を周るのに随分時間がかかりました。つくづく大きさを実感しました。

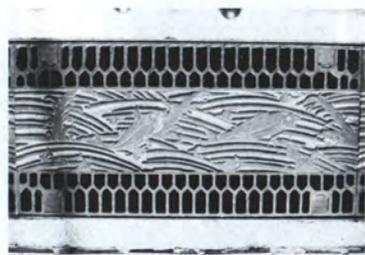
内山家は、年間一万一千〜二千人が訪れ、六割ぐらいは県外の人だそうです。「気が休まって、雑念がなくなる」と言われる人が多いそうです。まさしく同感です。このめまぐるしい時代に生きる私達にとって、少しばかりの安らぎを与えてくれる昔の家々、大事にしたいものです。

ふるさと
みてある記

井波町

ランマ、獅子頭、
置物から御輿まで
伝統の技がまちに
あふれている

散居村で知られる砺波平野の南端部、のどかな八乙女山の山麓に静かなたずまいをみせている井波町、伝統産業である木彫の店が町のいたるところでみられる。町のあちらこちらから槌音が聞こえ、通りに面した工房のガラス戸の向こうには、一心不乱にノミをふるう人の姿も望める。



この井波町に新しい石畳の道路が登場し、十一月二日に開通式が行われた。瑞泉寺へ通じる八日町通がそれ。路面は白の石畳、脇を流れる側溝の鉄製のふたは、伝統の技、木彫をデザインした特注品と凝っている。これは、国土庁の伝統産業都市モデル地区整備事業の一環で、全国で七カ所実施されているうちのひとつ。伝統産業を振興し、歴史性や自然、景観等の保全と育成をねらいとしている。八日町通は、従来からまちなみと伝統産業が一体となった独特の雰囲気をもっていたが、この事業の完成でその雰囲気が一層高揚している。



に自信が付くまで修業を続けている。井波には全国各地から木彫に魅せられた若者が修業に集まってくる。逆に地元井波町で新規に木彫を始めようとする若者は少なく、木彫の家に生れた者が親の技を受け継ぎ形その道に入ることが多いようだ。

図面一枚、矩計一本で御輿を作る

南部さんの工房で面白そうな話を聞きつけた。近くにお祭りの御輿を作っている人がいるという。指物師の枝義孝さんがその人。指物師というのは普通、箱や机などを作るのだけれど、枝さんが手掛けているのは、お寺の仏具や燈ろう、三方など宗教にかかわる品々だとか。さっそく訪ねてみる。

現在制作中の御輿は、屋根の部分だけで部品数が七百を超えている。小さな部品を組み合わせて御輿を作り上げるのだが、そのための図面はたった一枚、御輿の縦横等大まかな部分だけ数字が入っている。経験と勘がたよりだ。そして、興味深いのは矩計(曲計)。一見したとこ

井波町の概況

人口 11,540人
(昭和60年国勢調査)
面積 25.46平方キロメートル

越中の一向宗王国の中心として370カ寺を支配していた瑞泉寺の門前町として開けた町。"信仰と木彫工芸、で象徴され、まちなみを歩くとあちこちの木彫工房から「トン、トン、トン」と槌の音が聞こえる。7月下旬の瑞泉寺太子伝会では「聖徳太子御絵伝」の絵解きが行われ、昼夜、参詣の善男善女で活気づく。



自慢の技は、彫る物を選ばない 超特大ランマも長年の修業から

トントントン、槌の音につられて入口をくぐったのが南部白雲さんの工房、ちょうど井波木彫を代表するランマ彫りの真最中だ。井波町には約百五十軒の工房があり、約三百人が木彫にたずさわっているという。声をかけると、今朝仕上がったランマがあるから見ていっただらいいと家の奥へ案内された。何と縦三尺、横二間、厚さ約二尺の超特大、熱田のお寺さんからの注文だとか。彫り上げるのに一年近くもかかっている。

「ランマをはじめとして、彫り物は、それぞれ収まる場所がある。展示会場にあるのは借りの住まい、座敷などの鴨居の上が本来の収まる場所、同じ松竹梅や四君子を彫っても収まる場所が違えば見た目も違う。収まる場所にあったパランスを考えて彫るのが大事です」と話された。現在、井波木彫の年季は五年、もっとも年季が明けても、大半は、親方の家に住み込んで腕



ろただの四角い木の棒だがその四面には印がびつちり書き込んであり、寸法を表している。この矩計は制作するものごとに作り、枝さんがちやんとした定規を使うのはこの矩計棒を作るときだけ。これを作ってしまった後は、この印をたよりに制作を進めていく。よくこんな図面一枚と棒一本で立派な御輿や仏壇が出来あがるものだ。

井波には木彫だけではなく、枝さんのような伝統の隠れた技を持つ人がまだまだたくさんいるようだ。

- 10月16日 望ましい立山を考える会
- 10月17日 国際協力キャンペーン・地球サイズの青春
- 10月19日 自然歩道を歩く会
- 10月20日 一日部長
- シンポジウム「富山・東京論」
- 10月21日 第4回博物館構想策定委員会
- 10月23日 イメージディレク
- 10月24日 ター会議
- 富山県緑花推進県民会議
- 10月25・26日 特産王国とやまフェスティバル
- 10月26日 富山県駅伝競走大会
- 10月28日 URUOII会議
- 10月29日 一日庁議



- 11月9日 婦人スポーツ大会
- 11月10日 富山県総合雪対策推進会議
- 11月11日 青少年と環境に関する懇談会
- 11月13日 労働時間短縮シンポジウム
- 11月15日 富山県こどもフェスティバル
- 富山県考古資料展(～23日)

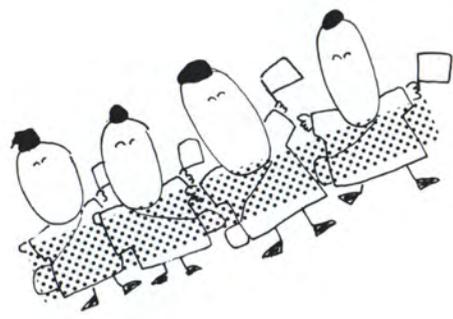


住宅情報

- 【優良物件案内】
●県営住宅入居者募集
今年富山市内で新築した下富居団地と富山、新湊、太閤山地区の既存の団地の入居者を募集します。
●問い合わせ先
富山県住宅供給公社(☎0764(32)5131)
- 太閤山住宅団地の宅地分譲
ゆとりあるマイホームづくりをお求めの方には最適です。
◆二区画平均面積/三百三十平方メートル
◆分譲価格/四万六千円/平方メートル
●問い合わせ先
太閤山住宅団地建設事務所(☎0766(56)0221)
- 【資金融資案内】
●富山県特別住宅分譲制度
富山県住宅供給公社の分譲住宅で、雪に強い住宅仕様のものを購入する場合などに適用される制度で、住宅金融公庫の

募集します

- 第十七回富山県青年海外派遣団員募集
募集期限 十二月二十五日(休)
- ◆応募資格
一般青年 二十歳～二十九歳 (学生不可)
農業青年 二十歳～三十四歳 (昭和六十二年四月一日現在)
- ◆派遣国
一般青年 〓ハンガリー、スイス
農業青年 〓オランダ、スイス
- ◆派遣時期
昭和六十二年五月二十日(休)～六月一日(月)(予定)



※詳しくは、市町村担当課または、県庁 婦人青少年課へ。

融資額が増加されるなどの特典があります。
●優良宅地取得資金
県、または住宅供給公社が造成した住宅団地の宅地を購入される方への資金融資です。



- ◆融資限度額 二百五十万円
- ◆償還期間 二十年以内
- ◆融資利率 五・七五パーセント
- 住みよい家づくり資金
雪に強い家づくり、住みよい家づくりのお手伝いをする富山県住みよい家づくり資金の融資条件が大幅に改善され有利になりました。
- ◆融資限度額
新築 三百二十万円
改良 二百万円
- ◆償還期間
新築 二十年以内
改良 十年以内
- ◆融資利率
年五・七五パーセント

※住宅金融融資について詳しくは、富山県住宅供給公社(☎0764(32)5131)へお問い合わせください。

見たり聞いたり

- わたしたちの壁画'87展
県内の児童・生徒が学校ごとに共同制作した大作を一堂に集めて展示します。
- ◆期間 十二月二十日(土)～二十一日(日)
- ◆場所 県立近代美術館
- ◆入館料 一般 百五十円
高校・大学生 百二十円
小・中学生 八十円
- 人権週間講演会・映画
12月4日(土)10日は人権週間です。人権擁護の正しい理解のため、講演と映画の会を開催します。
- ◆日時及び場所
12月4日(土) 午後1時30分 富山県民会館
12月5日(日) 午後1時30分 高岡市役所
- ◆内容
講演「人権について考える」 千葉県立衛生短期大学 福岡安則氏
映画「あざやかな青春」

※詳しくは、県庁県民生活課へ



県税事務所休業のお知らせ
◆期間/12月29日(月)～1月3日(土)
※年末に納税される方はお近くの金融機関をご利用下さい。

12月街頭献血予定

日	曜	場 所	時 間
4	木	入善町役場前	10:00～15:30
6	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
7	日	黒部ショッピングセンターメルシー前	//
8	月	砺波市役所前	//
11	木	立山町役場前	//
13	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
14	日	富山西武前	//
20	土	富山駅前	10:00～16:00
		魚津サンプラザ前	10:00～15:30
21	日	富山市中央通り前	//
27	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
28	日	高岡駅前	//

おたより

心の教育を大切に

今朝も中学生が早くから自転車で登校して行きます。部活動の早朝練習をするのだそうです。そして放課後もまた練習。夏休みも部活や運動会の準備で家へは昼食を食べに来るだけとか。こんなにまでやらなければならぬものかなあ？子供達には、自分が自主的に計画して過ごせる時間がどれだけあるのでしょうか。不安なために学校も親もしつかりと枠組を作っているようです。そして、その枠の中にしつと閉じ込められている子が良い子のようにですが、これでは自主性も創造性も育たないのではないのでしょうか。

井波町の小中学生を対象にした調査では、「しつけに不安」が半数もあるようです。人の道の基になるしつけが不安では、どんな子が育つのでしょうか。仕事に追われ、知育偏重の教育に追われて、心を育てることを忘れていないのでしょうか。列車に高校生が三人連れ立って乗っていました。親が乗ってこられても席を譲ろうとはしませんでした。親は自信を持って子供にしつけが出来るように勉強して欲しいものです。人の

道を守る、相手の心を思いやることができる心を育てることが、教育の基礎ではないでしょうか。

井波町 女性

■おたよりください。

☎九三〇 富山市新総曲輪一番七号

富山県庁広報課

「広報とやま」

「おたより」係まで

テレビ広報

・北日本放送
毎週日曜日 AM8:00~8:30
「こんにちは富山県です」
・富山テレビ放送
毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば
—クイズフォーカスイン—」

ラジオ広報

・FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題を
クリアなサウンドでおとどけ
します
毎週月～金曜日 AM9:30~9:35

見てください
聞いてください

新聞広報

・北日本、富山、読売、北陸中日
毎週第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
・朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

各種相談窓口のご案内

県政については

- ・県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民電話)
- ・高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411
- ・魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311
- ・砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151

消費生活については

- ・消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
☎(0764)32-9233
- ・消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

暴力・サラ金などについては

- ・困りごと相談所
警察本部防犯少年課
☎(0764)33-8080
- ・覚えい削・サラ金相談
警察本部生活保安課
☎(0764)41-8904
- ・暴力団ゼロ110番
警察本部捜査第二課
☎(0764)42-0110
このほか各警察署でも受け付けています。

編集後記

★いやー、千石の内山邸には驚きました。同じ農家でもわが家とはスケールが違います。何の変哲もない石が天下の名石だったり、西本願寺から贈られた仏像があつたりと、見る人が見れば泣いて喜ぶものばかりのようです。が、門外漢の私は「フーン」とうなづくだけ。関心は、庭の柿や栗に奪われがちでした。「ホホー」と感心しながら眺められるようになりたいものです。一句よむのも風流ですね。

★雪の季節がやって来しました。大人にはイヤな雪も、子供にはうれしい遊び相手です。服を泥だらけにして怒られる心配がありませんから。いつまでも布団にもぐっていいないで、こたつにしがみついてもいいないで、子供と一緒にね回りましょう。



シリーズ⑧

とやまの水

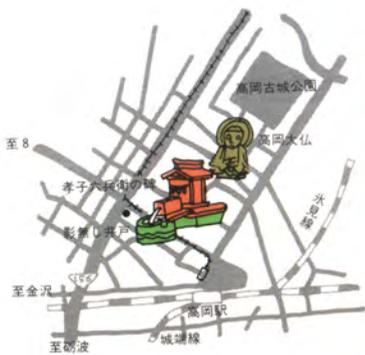
影無し井戸



高岡駅から北西へ歩いて約八分、市街地の中心、末広町に孝子六兵衛の石碑があります。石碑の前には古くから井戸があり、影無し井戸と呼ばれ、次のような言い伝えがあります。

昔むかし川原町に住む石瀬屋六兵衛は、日頃から篤行を重ねていました。ある時、六兵衛が仕事を終え、夕闇の中を歩いていると、突然不思議な老人が現れ、「近いうちに、きつとよいことがあるだろう」と言って、姿を消しました。この話を聞いた人々は、この場所を影なし坂と名づけました。またその頃、富くじがはやっており、六兵衛のとなりの人が、無理やりくじを押し付けてきました。後日、そのくじが当たった六兵衛のもとにたくさんのお金が入りました。そこで六兵衛は、そのお金で、ふしぎな老人にあつた影なしの坂の横に、井戸を掘ったところ良質の水が出て、地域の人に変なよこほれましました。

この井戸の水は、どんなに日照りが続いても枯れることなく道行く人や付近住民に親しまれ、今でもおいしい水として茶道等にも利用されています。

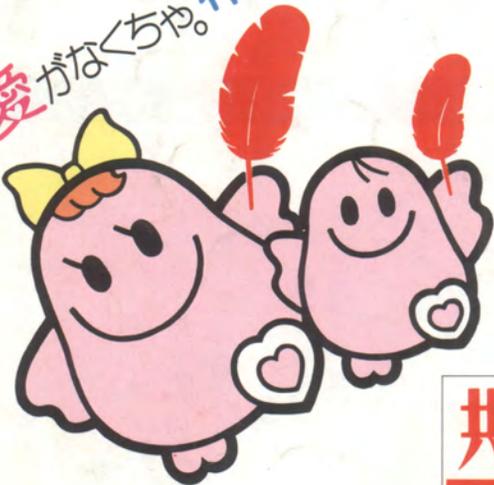


わかちあう幸せ

赤い羽根共同募金



愛がなくちゃ。希望がなくちゃ。



■みんなの幸せのために、ご協力を!!

去年は全国で217億円の善意がよせられました。集まったお金は、お年寄りやからだの不自由な人や知恵おくれの人、病気などで生活に困っている人などの施設、全国で1万8千余りの民間の福祉施設や団体（社会福祉協議会など）に配られ、みんなの福祉に役立てられました。どうぞ今年もみなさまのご協力をお願いいたします。

◎昨年の運動期間中に募集しました、共同募金運動シンボルキャラクターが“愛ちゃんと希望くん”という姉弟に決定しました。多くの方がたに愛されるキャラクターとして育てたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

共同募金

10月1日～12月31日